

受益者の皆様へ

平成 26 年 2 月 4 日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 311 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社ファンドの基準価額の下落について

平素はSBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(愛称:jrevive)(以下、「本ファンド」といいます。)をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2014年2月4日に国内の株式市場が大きく下落したことを受けて、本ファンドの基準価額が下記の通り下落いたしましたので、その原因等についてご報告申し上げます。

1.基準価額及び下落率(2月4日)

ファンド名称	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(愛称:jrevive)	14,522	▲802	▲5.23

2.基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

本ファンドの投資助言を受けておりますエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社のコメントは以下の通りです。

2月4日の日本株式市場は前日の欧米株式下落の流れを受けて大幅下落となり、東証株価指数は前日比▲4.8%となりました。前日同様これまで相対的に堅調に推移した小型株式への影響はより大きく、東証マザーズ指数は同▲9.9%と大幅調整となり、本ファンドの基準価額も同▲5.23%の下落となりました。

新興国の通貨不安が残る中で欧米・アジアなど主要国株式市場が軒並み下落していることに加えて、円高が進んだことなどが背景にあります。実際に世界の経済情勢が悪化していない現状を踏まえると、今週の調整には行き過ぎた感があります。今週も積極的に経営者との個別直接面談調査を継続していますが、欧米と強いパイプを持っている企業も、アジアを主戦場としている企業も、経営者の視点からは世界経済やグローバルな取引について懸念を感じる意見は出てきていません。また、組入企業の業績も想定通り・想定以上に推移していることを確認しています。したがって、企業業績というミクロの観点からは、さらに株価の過小評価が進んだと考えており、成長性が確認できて株価が割安な水準と判断した場合には、慎重に積み上げを図る計画です。

以上、当社ではエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社からの投資助言により、引き続き適時適切な運用を行うべく努力していく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

以上

○本資料は、エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社のコメントを基として、SBIアセットマネジメント株式会社が作成しておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(愛称:jrevive)

ファンドの費用

購入時手数料	購入申込金額に 3.15%※(税込)を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額となります。詳細は販売会社までお問い合わせください。 ※消費税率が 8%になった場合は、3.24%となります。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に対し 0.3%
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に年 1.785%※(税抜:年 1.7%)を乗じて得た金額とします。なお、当該報酬は、毎計算期末を含む毎月 22 日(22 日が休業日のときは翌営業日)または信託終了のときファンドから支払われます。 ※消費税率が 8%になった場合は、1.836%となります。
その他の費用 及び手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等 その他の費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。監査費用を除いては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。なお、監査費用は将来、監査法人との契約等により変更となることがあります。
その他	※ 上記費用及び手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドにかかるリスクについて

【基準価額の変動要因】

本ファンドは、マザーファンドを通じて主に国内株式に投資を行います。株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動し投資元本を割込むことがあります。特に投資する中小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。その結果、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者に帰属します。

<主な変動要因>

価格変動リスク

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドは株式の価格が変動した場合、基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

流動性リスク

株式を売却あるいは取得しようとする際に、十分な流動性の下での取引を行えず、市場実勢から期待される価格で売買できない可能性があります。この場合、基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

信用リスク

投資した企業や取引先等の経営・財務状況が悪化するまたは悪化が予想される場合等により、株式の価格が下落した場合には基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

※リスクは上記に限定されるものではありません。

《投資信託ご購入の注意》

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社のコメントを基として、SBIアセットマネジメント株式会社が作成しておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。